

# 令和元年度 千葉県市川健康福祉センター運営協議会 議事録

## 1 開催日時

令和2年1月16日（木） 午後2時から午後3時まで

## 2 場所

千葉県市川健康福祉センター 3階 講堂

## 3 出席者

### (1) 委員

内田 悦嗣	村越 祐民	伊藤 勝仁	石井 広志
田中 靖祥	神山 潤	青柳 信嘉	鈴木 たまえ
大西 純子	宇田川 勝久	鈴木 衛	プリティ長嶋
坂下 しげき	守屋 貴子	田中 幸太郎	宮坂 奈緒
登坂 三紀夫	帆刈 隆一		

(以上18名・敬称略)

### (2) 職員

センター長	坂本 泰啓		
副センター長	渡部 三喜男	福田 浩子	坂口 昌伸
地域保健課長	田中 由佳		
地域福祉課長	高塩 浩一		
疾病対策課長	古賀 晴美		
生活衛生課長	飯田 直樹		

## 4 会議の概要

### (1) 開会

渡部副センター長の司会で、午後2時に開会を宣言した。

### (2) センター長あいさつ

皆様、こんにちは。市川健康福祉センターの坂本でございます。

本日は、年度の御多忙の中、令和最初の千葉県市川健康福祉センター運営協議会に御出席を頂き、誠にありがとうございます。心から御礼申し上げます。

当協議会は、センターの昨年度事業実績、今年度進捗状況を委員の皆さまに御報告した上で、皆様から忌憚のない意見を頂くため、年1回毎年開催しているものです。私は毎年この協議会、親に成績表を見せる子供のような緊張感をもって臨んでおります。

さて、昨年9月から10月にかけて千葉県は連続しての風水害に見舞われております。幸いにして、当センター管内においては、床下浸水、長期の停電、断水といった被害は発生しておりません。しかし、災害発生時における健康福祉センターの使命、役割については、改めて自覚し、そして皆様との連携こそ重要であるという認識を深めました。

今年度事業の進捗状況は、台風15号、19号で当センターがどのような対応を行ったかを中心に御報告させていただきます。私たちの行った対応について、しっかり疑念を含め、御意見頂けますようお願い申し上げます。

今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、海外からさらに多くのお客様をお迎えします。そのお客様が持ち込んだ感染症から県民を守ること、反対にお客様が千葉県から感染症をお土産に持ち帰らないようにすることも保健所の重要なミッションと認識しております。

健康福祉センター・保健所の活動を私共保健所職員だけで、この程度で良いと決めつけてしまっただけでは、市川・浦安の公衆衛生水準は、今以上のものとはなりません。この地の公衆衛生水準をさらに高めるためにも、今日皆様から、貴重な御意見、御指導を頂けますことを願っております。

そして、当センター業務に御支援、御協力を頂けますことをお願い申し上げ、私からの御挨拶とさせていただきます。本日は皆様どうかよろしく願いたします。

### (3) 委員及び幹部職員の紹介

司会者が出席委員のうち、新任の委員を紹介した。

次に、副センター長及び各課長を紹介した。

#### (4) 報告

司会者が次の3点について報告をした。

ア 委員21名中18名の出席であり、千葉県行政組織条例第32条第2項に定める半数以上の出席があるので、協議会が有効に成立していること。

イ 千葉県情報公開条例第27条の3の規定により、審議会等は原則として公開することとされており、本日の協議会についても開催及び傍聴の手続きについて県のホームページで周知したところ、傍聴希望者が1名いたこと。

ウ 協議会の議事録は、後日当センターのホームページに掲載すること。

#### (5) 会長及び副会長の選出

司会者が、今年度から2年間を任期として当協議会の会長及び副会長を選出する必要があることを説明し、千葉県行政組織条例第30条第1項の規定により、会長に内田委員、副会長に村越委員と伊藤委員が選出された。

#### (6) 議長選任

千葉県行政組織条例第32条第1項の規定により、会長である内田委員が議長に選任された。

#### (7) 議長あいさつ (内田 悦嗣 議長)

皆様こんにちは。浦安市長の内田でございます。先ほど、皆様の御賛同を受けまして、当協議会会長に選出していただきましたこと、とても光栄に思っております。重責を自覚し、しっかり会長の任を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、令和元年度千葉県市川健康福祉センター運営協議会の議事に入る前に、議長の御挨拶を申し上げます。

本日は、医療、福祉をはじめ、各委員の皆様にお集まりいただきました。皆様には、市川・浦安地区の市民の健康と安全を守るために、日々、御尽力いただいておりますことに、まずは厚く御礼を申し上げます。

本協議会は、市川健康福祉センターが所管する浦安市と市川市における保健、福祉、健康福祉センター運営に関する事項を審議するために設置されているものでございます。

今、中国で原因不明の肺炎が発生しており、コロナウイルスによるものだということが報道されておりますけれども、浦安市は世界有数のリゾート施設を有しておりますので、国の内外から多くのお客さまをお迎えしている中、この肺炎の発生というのは、とても対岸の火事という風には思っておりません。こんな時だからこそ、健康福祉センター・保健所に頑張っていたきたいと願っております。

それでは、まずはセンターから事業の報告をしていただいて、その後で、健康福祉センターに期待すること、あるいは保健所としてもっと頑張りたいことなどを、活発に御発言を頂けたらという風に思っております。それがこの葛南地

区、市川、浦安、両市の安全安心の強化につながるものと信じております。

それでは、議長を務めさせていただきますので、円滑な議事運営に御協力をお願い申し上げて、私の御挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

#### (8) 議事

ア 平成30年度主要事業の実施結果について

イ 令和元年度主要事業の進捗状況について

資料「平成30年度事業年報」やパワーポイントにより、坂本センター長が一括して説明を行った。

#### (9) 質疑応答

別紙「質疑応答要旨」のとおり。

#### (10) 閉会

質疑応答終了に伴い、司会者が午後3時に閉会を宣言した。

## 別紙「質疑応答要旨」

### 内田議長

ただいま、事務局から「平成30年度主要事業の実施結果について」と「令和元年度主要事業の進捗状況について」説明がございました。私も風疹の抗体検査を受けましたら、子供の頃に罹ったらしく抗体があり、ワクチンの接種はまぬがれました。ぜひとも、対象の年代の方は、きちんと一回抗体検査を受けていただくようお願い申し上げます。

各委員に、事務局から事前質問を出していただきたいとお願いしたところ、1名の委員から御質問を頂きましたので、事務局からそれについて御説明をお願いします。

### 渡部副センター長

委員の皆様には、資料をお送りした際、併せて質問等をお寄せいただくようお願いしておりましたところ、宇田川委員から、配偶者暴力相談支援事業について御質問をいただきました。これにつきましては、担当課長から御説明をいたします。

### 高塩課長

地域福祉課の高塩でございます。宇田川委員から御質問のありました件について、回答いたします。令和元年度主要事業の進捗状況28ページによれば、電話相談、来所相談で併せて41件の相談件数がありますが、警察への情報提供は0件と記載されています。警察対応すべき案件は皆無との認識で良いか、支援の遅れへの懸念はないか、との御質問について回答いたします。

安全対策票とは、DV被害者が裁判所に保護命令を申し立てた場合に、被害者の同意を得た上で、配偶者暴力相談支援センターである当センターから警察に交付される情報提供用の資料です。被害者が裁判所へ保護命令を申し立てない場合や、安全対策票の交付について被害者から同意が得られないときは、当センターから警察に安全対策票が交付されることはありません。このため、今年度の警察への安全対策票の交付件数は0件となっております。

今年度は、11月末までに身体的暴力に関する相談が延べ18件寄せられましたが、緊急の保護を求めるものや、面接時に暴力被害の痕跡が確認されるなど、重篤な案件はありませんでした。

DV被害を訴える相談者に対しては、身体の危険を感じた場合には、警察に連絡するよう教示しているほか、緊急を要する案件については、警察に出動を要請するなどの対応をとっております。警察とは平素から緊密な連携を図っており、DV被害者の支援に遅れが生じないように努めています。以上でございます。

### 内田議長

ありがとうございます。宇田川委員からコメントがありましたらお願いいたします。

## 宇田川委員

ございません。結構です。

## 内田議長

それでは、事前に質問はいただいておりますが、先ほど、坂本所長から御説明のあった様々な事項について、御意見、御質問がございましたらお願いいたします。

## 神山委員

東京ベイ・浦安市川医療センターの神山でございます。

災害対策、感染対策含めて非常に広範囲な保健所の仕事を改めてまとめていただき、ありがとうございます。ただ少し残念なことは、僕自身は小児科医で、睡眠外来をしていますけど、そこで今非常に問題になっているのは、不登校、引きこもり、虐待、発達障害です。DVの話もありましたけど、たぶん虐待は、児童相談所のお話になるのだと思います。成人の引きこもりも、この前の元事務次官の殺人事件であったり、非常に大きな問題があります。学校関連では、不登校の問題があります。全部対応して欲しいというつもりはないですけども、対応の必要性を感じます。

DVは警察との連携とありましたけれども、児童相談所や教育委員会との連携をもっと強めて、感染症も結核ももちろん大事ですけど、少し病気の疾病構造が変わってきてますので、ぜひ、その辺に向けた対応も考えて頂きたい、というのが一点です。

もう一点は、いろいろ事業をされていますが、基本は全部研修会で座学なんですね。座学は、社会的にあまり効果がないというのが、わかってしまっていることなので、SNSやYouTubeを使うとか時代に即した対応を、予算の面も非常に課題はあるのだと思いますけども、ぜひ工夫されて、ますます効率的な運用されることを期待したいと思います。

## 内田議長

それでは、所長お願いいたします。

## 坂本センター長

引きこもり等は精神保健相談の方では行ってはいるのですが、教育委員会の連携という面に関しては、感染症に偏っているところはあると思いますので、もう少し幅広く連携に努めてまいりたいと思います。

そして、21世紀になっても座学というところも、重大な御提言いただいたものと思って、今後検討してまいります。

## 内田議長

そうしたら、それらは今後の課題としてよろしいでしょうか。

## 神山委員

そうですね。

内田議長

他に何かございますか。

石井委員

事業年報の38ページにありますとおり、摂食障害については、千葉県では千葉県摂食障害治療支援センターが、国府台病院に開設されたということで、全国でも非常に少ないことを坂本先生が御説明されました。摂食障害をお持ちの方は、かなり重篤な状態でいらっしゃる人が多いので、我々歯科医にとっても、千葉県は積極的に取り組んでいただいております。ぜひ進めていただきたいので、何か今後の展開みたいなことがありましたら、御紹介または県議の先生たちにもぜひ、中学校や教育者、保健師、助産師相手に座学を行うということですが、もう少し裾野を広げていただけるとありがたいのかなと思いますので、御意見として発言させていただきます。

内田議長

はい、ありがとうございます。では、何かありましたら、センター長お願いいたします

坂本センター長

当センターとしては、本当にこの貴重な資源を浸透させていく。そして、活用させていただくことを願って、令和元年も座学ではありますが、摂食障害の研修会という形で2年連続で河合先生に講師をお願いしました。県としてどう活用していくかまでは把握しておりませんが、今後、精神保健福祉センターとタイアップして、千葉市の方でも研修会を開催します。千葉県摂食障害治療支援センターを県内でさらに展開させていくことは不可能なので、治療者のネットワーク化を図っていくことは、間違いないのではないかと考えております。

内田議長

石井先生よろしいでしょうか。

石井委員

はい。

内田議長

他に、御意見・御質問ございますか。それでは他にないようでございますので、また何かありましたら、後ほど事務局のほうへ直接御質問等をお願いしたいと思います。以上で議事を終了させていただきます。